

春ですね！進級おめでとう！



みなさん、進級おめでとうございます！学校や幼稚園は楽しいですか？先生の家のベランダでは先日アサガオの種をまきました。イチゴも実を付けています！春ですね。ピアノ教室も新しい気持ちで一緒に頑張りましょう！さて、教室には最近、作曲家のマンガを置きました。ベートーベン、モーツァルト、ショパンなどの生涯が楽しみながら分かります。時間があったら読んでみてくださいね！

お知らせコーナー



早くも発表会に向けて演奏する曲を決めつつあります。まだ早いのでは？と感じるかもしれませんが、目標を持つことはとても大事ですし、練習にメリハリが付けばいいな、と思っています。中には、連弾の練習も少しやった生徒さんもいますよね。とても楽しくて、盛り上がりました！



ところで、いつもやっている教本でのレッスンはどんな意味があるのでしょうか？ピアノの教本は、いろいろな種類がありますが、どの教本も、体系的に順番に技術が身に付くように設計されています。毎日のちよこっと練習でも良いので、少しずつ前進していくよう、一緒に頑張りましょう！

ピアノのお話

問題

ヴァイオリンには4本、ギターには6本の弦(げん)がありますが、さて、ピアノの弦は1台につき何本あるでしょう？(答えは一番下)

ピアノがとても大きな音が出るのは、ハンマーで叩いた弦の振動が響板(木の板)で増幅されているからです。でもそれだけじゃなくって、1つの音に対し、弦が2~3本(低い音では1本)も張られているのも大きな音が出る理由のひとつです。1本当たり、80kgほどで引っ張っているのです。全部で約20tもの力が掛かっています。ひえーw(°o°)w ベートーベンの時代あたりから、産業革命が進み、ピアノに頑丈な素材が使われるようになりました。そして、始めは1本だった弦が、2本、3本と増えていき、今のよう大きな音が出せるようになったのです。

